

## 令和3年度 鳥取砂丘における自動運転実証実験について

## 実証実験概要

## ■ 事業目的

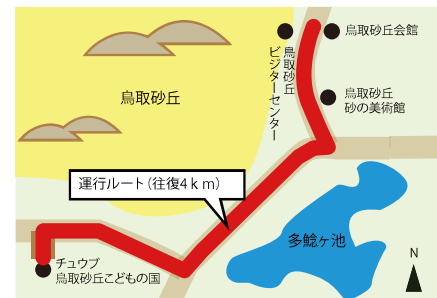
- 鳥取砂丘東側と、今後、高級リゾートホテルの開業など再開発が進む西側をつなぐ2次交通の確保に向けて、自動運転技術を活用した新たな移動サービスの提供について、実証実験を実施する。



運行車両



NAVYA 社製「ARMA」  
最高時速 19km 定員 14名



運行ルート図

## ■ 運行実績

- 運行便数：43 便 (R4.2/19 ~ 3/8 の間 9日運行)
- 乗車人数：173 名 (一般 137 名、関係者 36 名)



## 検証結果

## ■ 検証項目

自動運転バス「ARMA」の運行技術検証

## ① 降雪時

降雪時は、センサーが雪を障害物と認識し減速がかかるため、正常に運行ができない。



## ② 積雪時

センサー検知範囲で高さ30cmを超える積雪は障害物として検知し停車するため、正常に運行ができない。



## ③ 飛砂

強風時の飛砂の中では、センサーや機器に影響はなく、安全に走行できた。

## ④ 通信環境

砂丘リフト下通過時に衛星からの通信状況が低下傾向にあり、数回程度の減速が発生した。

## ⑤ 道路環境

2車線区間の信号機のない横断歩道（運行区間内6ヵ所）において、一般車両が一方の車線を通過する際に歩行者として検知し急停止が発生した。

## 今後の取組

- 自動運転を含め、鳥取砂丘エリアにおける最適な移動サービスのあり方について検討
- 自動運転技術のレベルアップ（レベル4：無人運行）による実証実験の検討